

令和5年（2023年）夏の平和展
「慰問 玉名・菊池飛行場から見た特攻隊の実相」実施要項案

1 テーマ 「慰問（いもん） 玉名・菊池飛行場から見た特攻隊の実相」展
～三人の少女等証言会と
平和啓発リーフレット『菊池の空から II』発刊～

2 開催趣旨 ※展示会チラシは、玉名市立歴史博物館「こころピア」作成

昭和20年（1945年）太平洋戦争末期、九州各地からは沖縄防衛戦支援の為、陸海軍航空機による特攻攻撃が行われ、いまでも歴史の悲劇として語り継がれている。陸軍玉名飛行場には昭和20年5月末に陸軍百式司令部偵察機装備の「振武桜特別攻撃隊」の1機が降りたっている。その後は、米軍による九州上陸に向け練習機を特攻仕様とした「第九十・九十一振武隊」が野部田地区に敗戦まで逗留していた。その間、伊倉地区の住民を中心として、特攻隊員への「慰問」が行われ、手厚い交流がなされた。

一方、菊池飛行場では、数多くの特攻部隊が当地を中継基地として沖縄方面への攻撃が行われている。今般・令和2年11月に「第七六・七七振武隊」に関わる菊池市隈府での「慰問」写真が発見され、当地での特攻実相が少しずつ判明してきた。

今回の企画展では、両飛行場への「慰問」を取りあげ、当時の日本人がどの様にして特攻攻撃や軍務を支えていたのかを考える。両飛行場での「慰問」に関わる資料等を展示し、当時を知る方々、伝承してこられた方々による証言会も開催する。

戦後78年が経過し、戦争の記憶がうすらぐ中、ウクライナでの平和を願い「戦争の悲惨さ」と「平和の大切さ」を考える機会としたい。

3 日時

(1) 展示会 令和5年7月19日（水）～8月19（土）まで

(2) 証言会 令和5年（2023年）8月5日（土）
午後13時開場、13時半から16時半頃まで

4 場所 玉名市立歴史博物館「こころピア」玉名市岩崎117 電話0968-74-3989

□展示会：エントランスホール
□証言会：レクチャーホール（定員約40名）

5 共催 玉名市教育委員会 ※3/8、4/19、6/8打ち合わせ済み

6 展示準備等

□資料借用は、6/30までに高谷が行う。返却も同様

□展示資料搬入は7/2（日）9時からで仮レイアウト。最終展示準備は、7/17日（祝）

7 概要

(1) 展示会・展示資料 ※別紙エクセル表「展示計画」「展示資料一覧」を参照

ア 玉名飛行場関係

□展示資料・現物 第九十・九十一振武隊員の寄書き日章旗×1、法光寺会報

□展示資料・パネル等 所沢での部隊編成写真×1、部隊と地元との交流写真×4、大浜飛行場解説・空襲パネル等×14 他

□第九十振武隊は、山門明伍長、四宮至伍長、品田喜一少尉、池部範雄伍長、塚本要伍長、野村剛一伍長、平間正男伍長、龍野一朗伍長、峯岸正夫伍長、今泉安治伍長、伊藤政雄伍長、河野貢伍長で、通称は品川隊である。

□九三式中間練習機による九州本土決戦の為の待期特攻隊である。



写真1 第九十振武隊「修武隊」の宇都宮飛行場での部隊編成写真

写真2 法光寺での第九十部隊員と伊倉地区住民他の交流

写真3 法光寺に残された第九十・九十一振武隊員の寄書き日章旗 法光寺所蔵

イ 菊地飛行場関係

- **展示資料・現物** 第七六振武隊慰問写真×1、慰問団菊地神社集合写真×1
- **展示資料・パネル等** 菊地飛行場新発見写真×6、第七六振武隊長岡村博二中尉遺品（第七六振武隊寄せ書きハンカチ「振武」×1、額装「尊王」×1）、前逗留地の兵庫県「加古川飛行場」集合写真×2、知覧フィールドミュージアムでの復原展示機写真×1 他
- 第七六振武隊は、昭和20年4月、第五十一教育飛行師団を持って編成された。第六航空軍付（九州）で、部隊長は岡村博二（おかむらひろじ）中尉である。
- 第五次航空総攻撃が行われた4月28日、第七六振武隊は岡村中尉以下、境軍曹、長谷川伍長、山口伍長、中川伍長、鈴木伍長の6名が、16時50分に知覧飛行場発進し、嘉手納湾の敵艦船に向け特攻攻撃を行った。続く5月11日の第七次航空総攻撃では、久富少尉、戸沢軍曹、小浜伍長の3機が加わり、16時41分に知覧飛行場を発進、嘉手納沖の米艦に突入し特攻死された。

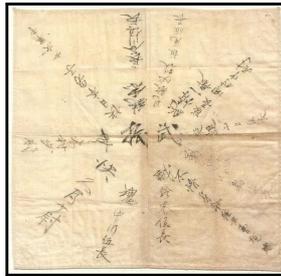


写真4 加古川飛行場での第七十六振武隊。4月18日頃撮影
 写真5 第七六振武隊寄せ書きハンカチ「振武」① 知覧特攻平和会館所蔵
 写真6 丸山さん方等慰問団と第七十六・七十七振武隊員

ウ 特攻隊資料

※荒尾市戦時研究家の松山強氏資料を借用

- **現物展示資料** 陸軍航空服、ぱく帯、航空帽、航空眼鏡、航空手袋、陸軍特攻隊振武隊肩章・日の丸、軍刀、特攻鉢巻き、海軍神風隊偵察要具袋 他
- 第二十七振武隊原田菜さん遺品「短冊三幅」、宿泊所護国殿の「硯」 高谷資料



写真7 陸軍航空服軍装品一式 写真8 陸軍特攻隊振武隊肩章・日の丸と振武隊軍刀
 写真9 特攻人形 写真10 特攻鉢巻き 写真11 海軍神風隊偵察要具袋

エ 慰問資料

※荒尾市戦時研究家の松山強氏資料を借用

前線の兵士に送られた銃後の国民からの慰問袋と慰問品

- **現物資料** 慰問袋五種、慰問手紙とお守り、慰問箱、慰問はがきセット、慰問薬、慰問用携帯鏡、慰問用皇軍将、棋明治ドロップ 他

(2) 証言会

※別紙「証言会実施計画」を作成予定

ア 玉名飛行場・第九十・九十一振武隊への「伊倉地区からの慰問」の証言

- 両部隊員の宿泊先であった「法光寺」には、伊倉地区からの住民による慰問が行われていた。部隊員が特攻前に寄せ書きした日章旗が残されている。

□戦後部隊員と法光寺との交流は継続され、平成2年5月19日に平和の大切さをつたえる特攻慰霊碑が法光寺境内に建立された。当寺の「野田顕龍住職」証言内諾済み

イ 菊池飛行場・第七六振武隊への「踊り慰問」での「三人の少女」証言

- 当時医師の娘で踊りを習っていた「丸山順子さん・和田素子さん・高岡喜恵子さん」は師匠の方々と県北・県央地域を中心に踊り慰問を行っていた。慰問では、県民歌として制定された「菊池盡忠（じんちゅう）の歌」をくちずさみ、この歌に併せて踊っていた。
- 撮影された写真は、隈府市内の料亭・旅館「菊栄館支店」にて4月25日頃の撮影と想定。
- 熊本市北区植木町在住の「中野喜重子さん（当時12歳）証言内諾済み



- 写真12 丸山さん自宅での丸山さん（後列）と和田さん（前列）
- 写真13 丸山さんと菊池慰問時にもらった短冊「純情 岡村中尉」平成元年頃に撮影
- 写真14 78年前同様「菊池神社神楽殿の舞台西側前」での丸山さん（右側）と高岡さん（左側）

(3) 啓発リーフレット『菊池の空から II ～陸軍第七十六振武隊と三人の少女～』発行

ア 当啓発リーフレット発刊に際しては、熊本日日新聞社「令和5年度熊日文化スポーツ助成事業（前半期）」の申請中である。

イ 8月初旬で、「菊池市長への本リーフレット贈呈日」を設定する。

ウ 完成リーフレットは、菊池市・菊池市教育委員会を通して市内各学校児童生徒に配布予定である。また、県民・市民向けには、玉名市立歴史博物館こころピア、菊池飛行場ミュージアム、菊池中央図書館でも「無償」配布の予定



- 写真15 菊池市教育委員会への『菊池の空から』の贈呈様子
- 写真16 第二十七振武隊原田菜さん遺品「短冊三幅」
- 写真17 菊池中央図書館でのパネル展示 2019年8月実施



連絡先
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
個人携帯 090-1513-5528
Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp
HP URL http://www.kumamoto-senseki.net/